

第2次糸魚川市総合計画の 策定にあたって



本市は、平成17年3月19日に能生町、糸魚川市、青海町が合併し、新たな糸魚川市として誕生しました。

合併以降、より良い「ふるさと糸魚川」を築き、発展させ、次世代に引き継いでいくため、都市像である「翠の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち」の実現に向け、個性あるまちづくりを進めてきました。

この間、「ユネスコ世界ジオパーク」の認定やヒスイが国の石に選定されましたことは、他の自治体にはない本市の魅力であり、今まさに注目を浴びているところでもあります。これらの魅力と開業した北陸新幹線を生かして、交流人口の拡大と地域産業の活性化など、地域再生をより一層進めてまいりたいと考えております。

また、本市の最も大きな課題である人口減少は、昭和30年頃から始まっており、対応する施策を講じてきましたが、歯止めを掛けるには至らず、今後も減少傾向が続くことが推測されています。今後は、年齢構成バランスのとれた人口構造への転換を図るため、地方創生の取組を着実に推進してまいります。

このほか、高度経済成長期に集中的に整備されたインフラの維持管理・更新などに多額の財政需要が見込まれるなどの課題も現れてきています。

このような社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに対応するとともに、明日に希望を持ち、安全・安心な暮らしを築いていくため、30年先も持続可能なまちづくりの基本指針として、「第2次糸魚川市総合計画」を策定しました。

本計画では、市民や地域、事業者等と行政が、まちづくりの目標や役割などを共有し、共通理解のもと、共に考え、共に行動する協働の取組により、着実な計画推進を図ってまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年3月
糸魚川市長 米田 徹

平成28年12月22日に発生した「糸魚川市駅北大火」で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

「災害に強いまち」「賑わいのあるまち」「住み続けられるまち」を目指して、一日も早い復旧・復興を図るとともに、被災地域を含めた中心市街地の再生など復興まちづくり計画の策定に合わせて、今後、総合計画の見直しをしてまいります。

総合計画概要版(本誌)について



本誌は「第2次糸魚川市総合計画」の概要版です。

平成29年度から7年間の糸魚川市の基本構想や基本計画の大まかな内容をピックアップして紹介しています。

詳しい内容については、本編である「第2次糸魚川市総合計画」に記載してありますので、そちらと照らし合わせてご利用ください。

「第2次糸魚川市総合計画」は糸魚川市役所・能生事務所・青海事務所・図書館・地区公民館に配置されているほか、糸魚川市のホームページでもご覧いただけます。

第2次糸魚川市総合計画

検索



キャラクター紹介



ジオまる

いといさん

いがわさん

ぬーな

ジオまる

古代の糸魚川から現代に蘇った推定5億歳の男の子。好奇心旺盛でイタズラ好きだけど、ジオパークの知識が豊富なかわいく不思議なキャラクター。

いといさん

生まれも育ちも糸魚川の中学生の男の子。食べることに寝ることが大好き。スポーツが得意で、毎日部活のサッカーを頑張っている。

いがわさん

小さい頃に都会からお父さんのふるさと糸魚川へ引っ越してきた中学生の女の子。自然や動物が大好きなアウトドア派。おいしいものには目がない。

ぬーな

やさしくて思いやりがあり、とても賢い糸魚川の伝説のお姫様。糸魚川の特産品が大好きで、ヒスイの勾玉をいつも大事に持っている。年齢は秘密。

目次 contents

総合計画とは 4-5

序章 30年先も持続可能なまちづくりに向けて 6-7

第1章 子育て支援充実のまち いといがわ 郷土愛にあふれ 夢をかなえるひとづくり 8-9

第2章 安らぎ支えあいのまち いといがわ 健康で元気なひとづくり 10-11

第3章 資源循環で潤うまち いといがわ にぎわいと 活力のあるまちづくり 12-13

第4章 生活基盤が整ったまち いといがわ みんなが 住みよいまちづくり 14-15

第5章 環境保護と防災対策の充実したまち いといがわ 人と自然に やさしいまちづくり 16-17

第6章 市民活動が活発なまち いといがわ 地域が輝くまちづくり 18-19

総合計画推進に向けた行財政運営 20-21

財政計画 22-23